



問いをもつ

令和7年7月24日

上田市立第二中学校 No.5

学校だより

Ⅰ 学期終業式校長講話 ～中学生になるとはどういうことか？～

本日でⅠ学期が終わります。登校日数はⅠ・Ⅲ年生が73日、2年生が74日間でした。明日から27日間の夏休みに入ります。今年はⅠ学期のうちから35度を超える猛暑が続きましたが、みなさん、よく頑張りましたね。

塩尻地区の民生児童委員さんが、次のようなお話をしてくださいました。「地域の方が、朝、家庭ごみをゴミステーションに運んでいると、後ろから二中の男子生徒が走ってきて、『ごみを運びましょうか?』と言って、ごみをゴミステーションに運んでくれたそうです。その方は、名前を聞くことはできなかったようですが、男子生徒の優しさに触れ、とても感激されていたそうです。」二中学生が大切にしてきた「明倫の心」が具現された姿ですね。

さて、今年度は、合言葉を「問いをもつ」としてスタートしました。「問いをもつ」ということは、「常に考える」ということです。当たり前の中で「思考停止に陥らない」ということです。二中は、学校教育目標を「明倫の心」敬愛・窮理・実践としています。それを受けて、みなさんの大先輩方が「明倫の柱」として「挨拶」「靴揃え」「合唱」「清掃」を掲げ、大切にしてきました。Ⅰ学期は、生徒会の「明倫大賞」の活動と併せて、先生方も一緒になって「靴揃え」と「授業開始時の教室環境の整頓」を行ってきました。

次の写真を見てください。

6月10日の教室の様子



7月1日の教室の様子



登校直後の下駄箱の様子

6月の教室では、カバンのふたが垂れていたり、ロッカーの前にプリントが落ちていたりします。問いをもっていないと、これが当たり前となり、何も感じなくなってしまいます。一方、7月の教室では、ゴミやプリントが落ちているクラスはありませんでした。3週間で、教室環境がずいぶん変わりました。右の写真は、3年生のロッカーの様子です。これらの写真から、みなさん、何を感じましたか？ 大先輩から受け継いできている「明倫の柱」、なぜ先輩方はこれらを大切に考えて、ずっと受け継いできたのでしょうか？ なぜ靴を揃えるのか、なぜ挨拶をするのか、もう一度、みんなで考えてみてはどうでしょうか？ 2学期、生徒会を中心に、なぜ「明倫の柱」がずっと受け継がれてきたのかについて全校で考えてほしいと思います。

6月16日に、来年入学してくる小学校6年生が二中の授業を参観に来ました。主な感想を紹介します。

- ・ほとんどの人が集中して、発言したり先生の話をしっかり聞いていたりして、やっぱり小学生と違うなと思った。
- ・しっかり前を向いて先生話を聞き、授業を受けていたので「中学生はすごいな～」と思った。
- ・学校中の廊下や階段、水道がとてもきれいに掃除されていて、自分ももっと掃除をうまくなりたいと思った。

さて、ここでみなさんに考えてもらいたいと思います。中学校に入学すれば中学生になるのです

が、本当の意味で小学生から中学生になるとはどういうことでしょうか？ この「問い」を夏休みの宿題にしたいと思います。一人ひとりが「小学生から中学生になる」とはどういうことか考えてみてください。それでは、みなさん、8月21日、元気に会いましょう。

子ども中心の日ウィーク ～ご協力ありがとうございました～

テレビやPC・ゲーム等のスイッチを切り、子どもを中心に家族の交流を深めていただくことを目的として、6月23日（月）～6月29日（日）に「子ども中心の日ウィーク」を実施しましたところ、多くのご家庭で多様な取組のご報告をいただきました。ご協力ありがとうございました。次回は11月17日（月）～11月23日（日）の実施予定です。

以下、今回の取組のご感想の一部をご紹介します。

- ・結果はまだ出ていませんが、ゲームしたい一心で勉強をおろそかにする所と一緒に協力してみ、子供の勉強に対する取り組み方が変わりました。それにより、テストが怖くなくなったと言っていたので、良かったと思います。
- ・その地域ならではの食べ方や調理の工程を調べるのが楽しかったです。すぐ食べられるもの、保存食としてとっておくもの、先人の方々の知恵を子どもに伝えられて良かったです。
- ・なかなかゆっくり子どもから学校の様子を聞く機会がないので、いいきっかけになりました。
- ・娘の方がお菓子作りが得意な事もあり、教えてもらう感覚で一緒にティラミスを作りました。お菓子作りは材料の計量がとても大切になるので、作業工程に娘の性格が表れていて、とても頼もしく感じました。ほんの20分くらいの時間でしたが、久しぶりに親子で共同作業ができ、ゆったり会話も楽しめて嬉しかったです。
- ・普段から一緒に過ごす時間を持つようにしているつもりですが、子供中心に何かをしようとすると、より成長を感じることが出来ました。
- ・卵焼きを作ってくれました。スマホは勉強を理由に使ったり、ついダラダラ使い続けてしまったりするのでなかなか手放せないようです。今回の取り組みはありがたかったです。
- ・小学生の頃は良く一緒にご飯の支度をしたのですが、中学生になってからはなかなかそういう時間が取れなかったもので、久しぶりにそういう時間が持てて良かったです。
- ・小さいときは本を読みきかせたり、音読に毎日つきあったり、それなりにメディアからはなれておきあう時間がありました。気付くと、それが今はそれぞれ親も子もスマホをいじっていてよくないなあと思っていたので、久しぶりに楽しい時間が過ごせました。



中体連夏季大会県大会・吹奏楽コンクール東信地区会結果

～応援ありがとうございました！！～

サッカー	[1回戦] ○二中・東御東部— 飯田西・高森 (2-0)	県大会ベスト8
	[2回戦] ●二中・東御東部—松本 NorteUnited (0-5)	
柔道(個人)	1名: 男子個人(3年)	県大会ベスト8
	1名: 女子個人(3年)	県大会ベスト4
陸上	1名: 男子共通1500m	県大会19位
	1名: 女子共通1500m	県大会30位
吹奏楽	金賞	県大会出場

<今後の予定>

[8月]

21日(木) 2学期始業式

25日(月) 3年総合テスト

[9月]

1日(月) 避難訓練②

5日(金) 授業参観日③・二中フォーラム

今後のスクールカウンセラー来校日

◇9月 2日(火)

◇9月16日(火)

☆相談の希望がありましたら、担任または養護教諭までお知らせください。

【文責: 教頭 油井 幸樹】